ヘブル人への手紙 11

贖いの恵みを体現しよう



ヘブル人への手紙9章15～28節　新しい契約の仲介者

Shikaoichurch.com

福音を信じて救われた!!

確信は、簡単に揺らぐ、薄れてしまう

どうしたら
救いの確信を深めていけるのか？

贖いの恵みを体現しよう

❶真実の血による契約　9:15～22

❷一度きりの完全な贖い　9:23～28

贖われた者として生きる

まとめと適用



聖書　新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会　許諾番号4-1062-2

ヘブル人への手紙とは？

■著者　…記載なし。諸説あり　**パウロ?!**
　　…メシアニック・ジュー(第二世代?!)

■宛先　…メシアニック・ジュー
　　ディアスポラ(離散のユダヤ人)
　　ペテロの手紙と同じ教会(小アジア？)

■場所・時期　…エルサレム陥落(BC70)前
　　ローマ？　**エペソ?!**

■内容　…ユダヤ教に回帰しようとする人々へ
　　信仰の基本的内容の確認、促し。



9章前半のまとめ　幕屋・祭司　と　真実の大祭司

- 律法の幕屋・祭司は、メシアを示す影
  - ➡重要なのは本体・真実の大祭司メシアご自身

- メシアは来られ、一度きりの完全な贖いを成し遂げた。

- 今や、福音を信じた誰もが、メシアを通して、
  - ①神に直接礼拝することができる。
  - ②真実の至聖所・天のエルサレムへ招かれている。

イエス・キリストを信じ、従い歩むのが今の時代の信仰者



❶真実の血による契約

ヘブル9章15～22節

❶血による契約　契約の仲介者　9:15

キリストは新しい契約*の仲介者です。それは、初めの契約*のときの違反から贖い出すための死*が実現して、召された者たちが、約束された永遠の資産を受け継ぐためです。

＊エレミヤを通して呈示され、
　メシアが締結、施行。
＊モーセ契約・律法
＊メシアによる十字架の血の贖い



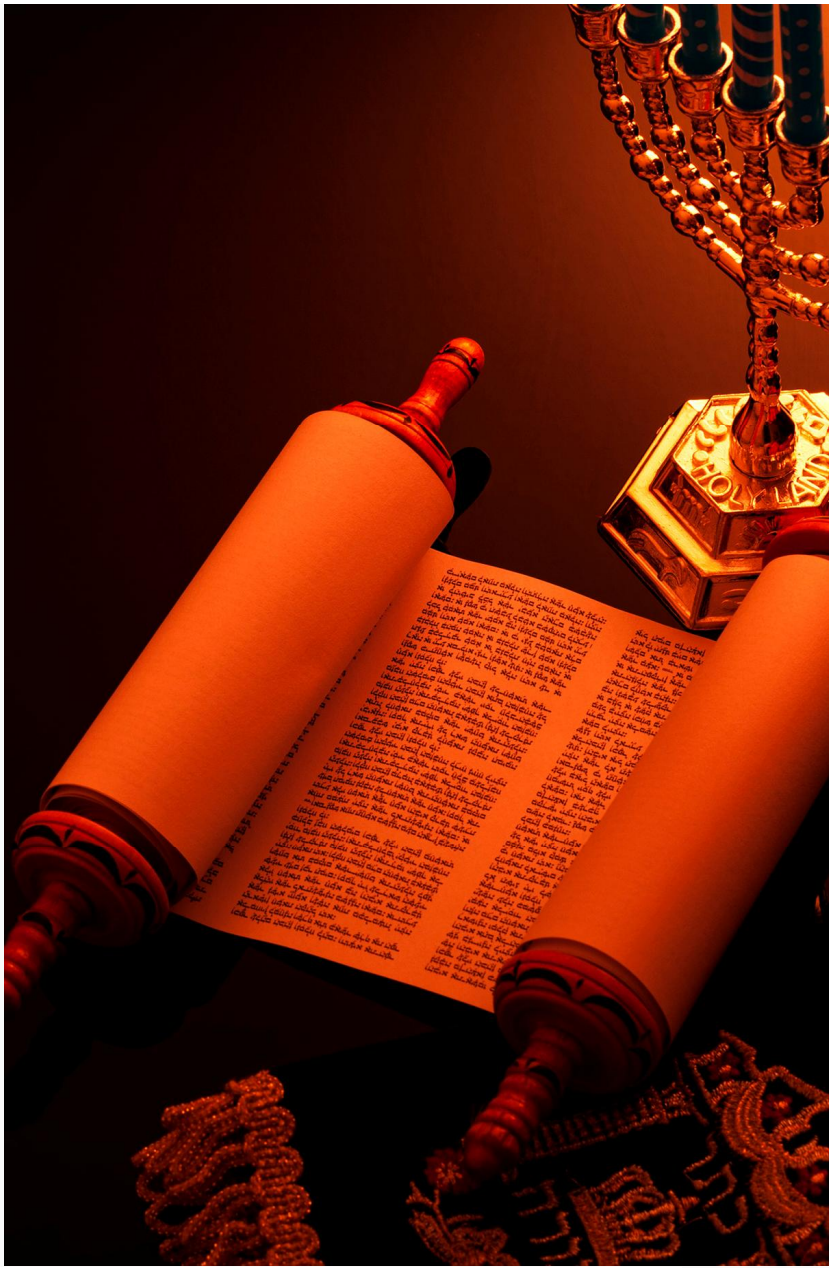
❶血による契約　遺言の効力　9:16～17

遺言には、遺言者*の死亡証明が必要です。

遺言は人が死んだとき初めて有効になるのであって、遺言者が生きている間には、決して効力を持ちません。

＊子なる神イエス・キリストが、
律法の制定者

■キリストの死により、
律法は効力を失った。



❶血による契約

血の契約　9:18～20

ですから、初めの契約も、血を抜きに成立したのではありません。

モーセは、律法にしたがってすべての戒めを民全体に語った後、水と緋色の羊の毛とヒソプとともに、子牛と雄やぎの血を取って、契約の書自体にも民全体にも振りかけ、「これは、神があなたがたに対して命じられた契約の血である」と言いました。

■律法締結時の契約の血が示していたのは、
キリストの十字架の贖いの血。



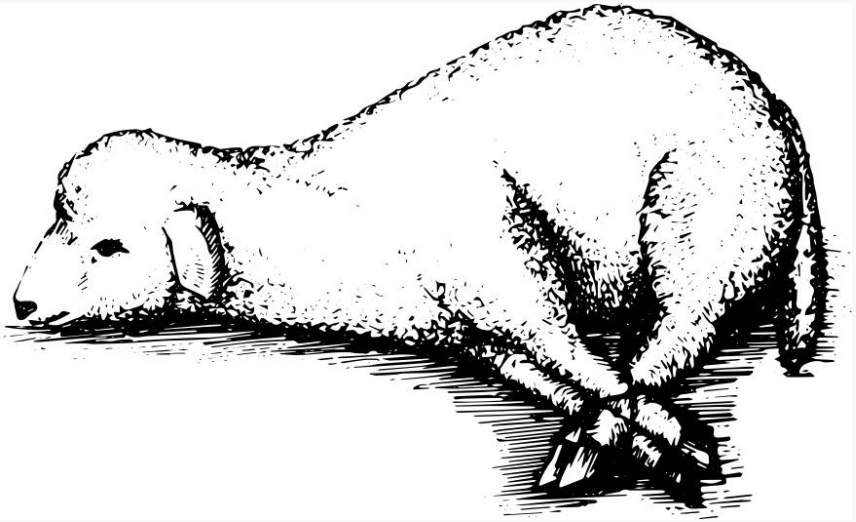
❶血による契約　赦しの原則　9:21～22

また彼は、幕屋と、礼拝に用いるすべての用具にも同様に血を振りかけました。

律法によれば、ほとんどすべてのものは血によってきよめられます。血を流すことがなければ、罪の赦しはありません*。

「実に、肉のいのちは血の中にある。…いのちとして宥めを行うのは血である。レビ17:11」

真の赦しはメシアの血によって



幕屋

❶真実の血による契約

①イエス・キリストは新しい契約の仲介者

②キリストの死によって律法は無効に。

真の赦し・きよめは、メシアの血による。



❷一度きりで完全な贖い

ヘブル9章23～28節

❷完全な贖い　天の写し　9:23

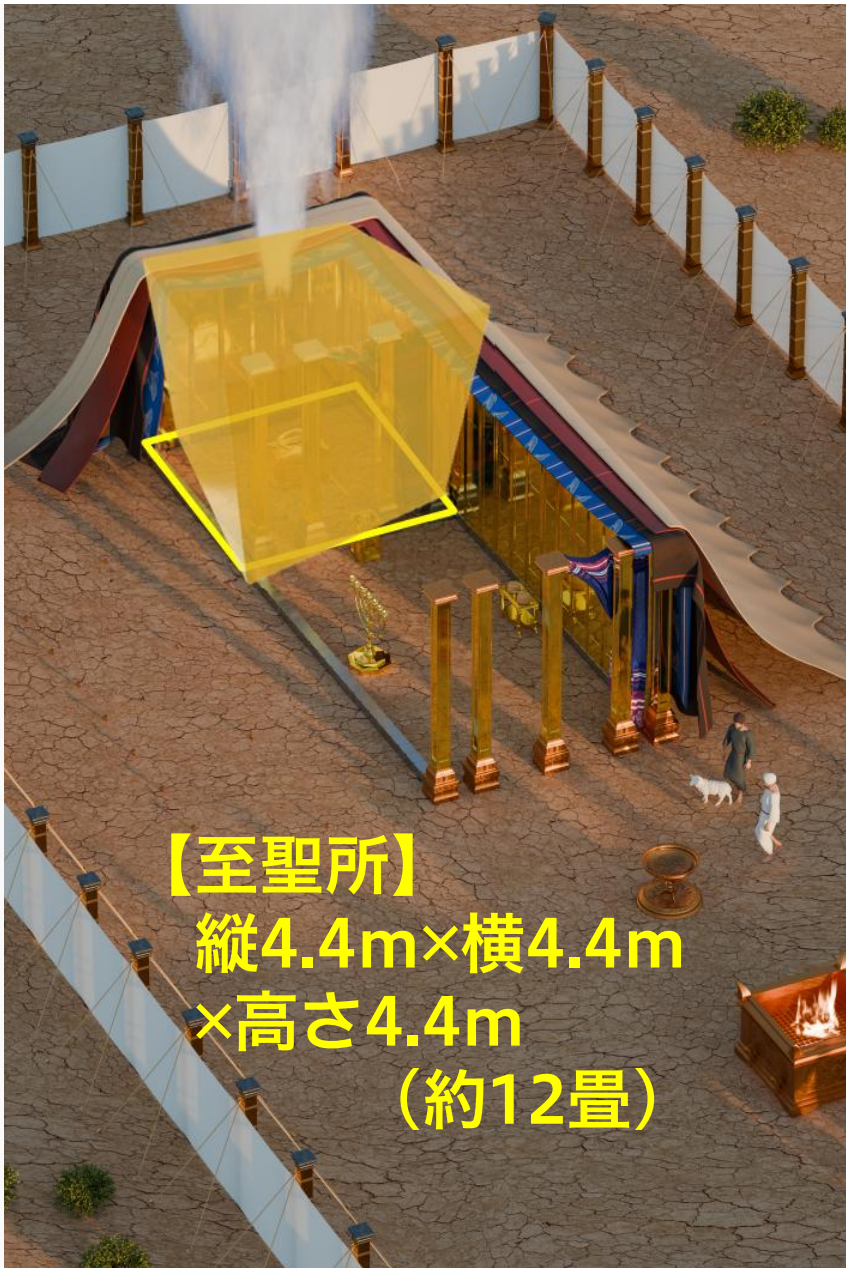
ですから、天にあるものの写し*は、これらのものによってきよめられる必要がありますが、天上にある本体そのものは、それ以上にすぐれたいけにえによって、きよめられる必要があります。

＊地上の幕屋は、天のエルサレムの影

＊天そのものは、けがされてはいない。

➡天と全被造世界の完全な回復

➡すべてが神の栄光に帰される。



❷完全な贖い　大祭司イエス　9:24

キリストは、本物の模型にすぎない、人の手で造られた聖所に入られたのではなく、天そのものに入られた*のです。そして今、私たちのために神の御前に現れてくださいます。

＊十字架で死なれ、復活し、栄光の体で
　天に昇られた。

＊神の右の座で大祭司としてとりなしを。



❷完全な贖い

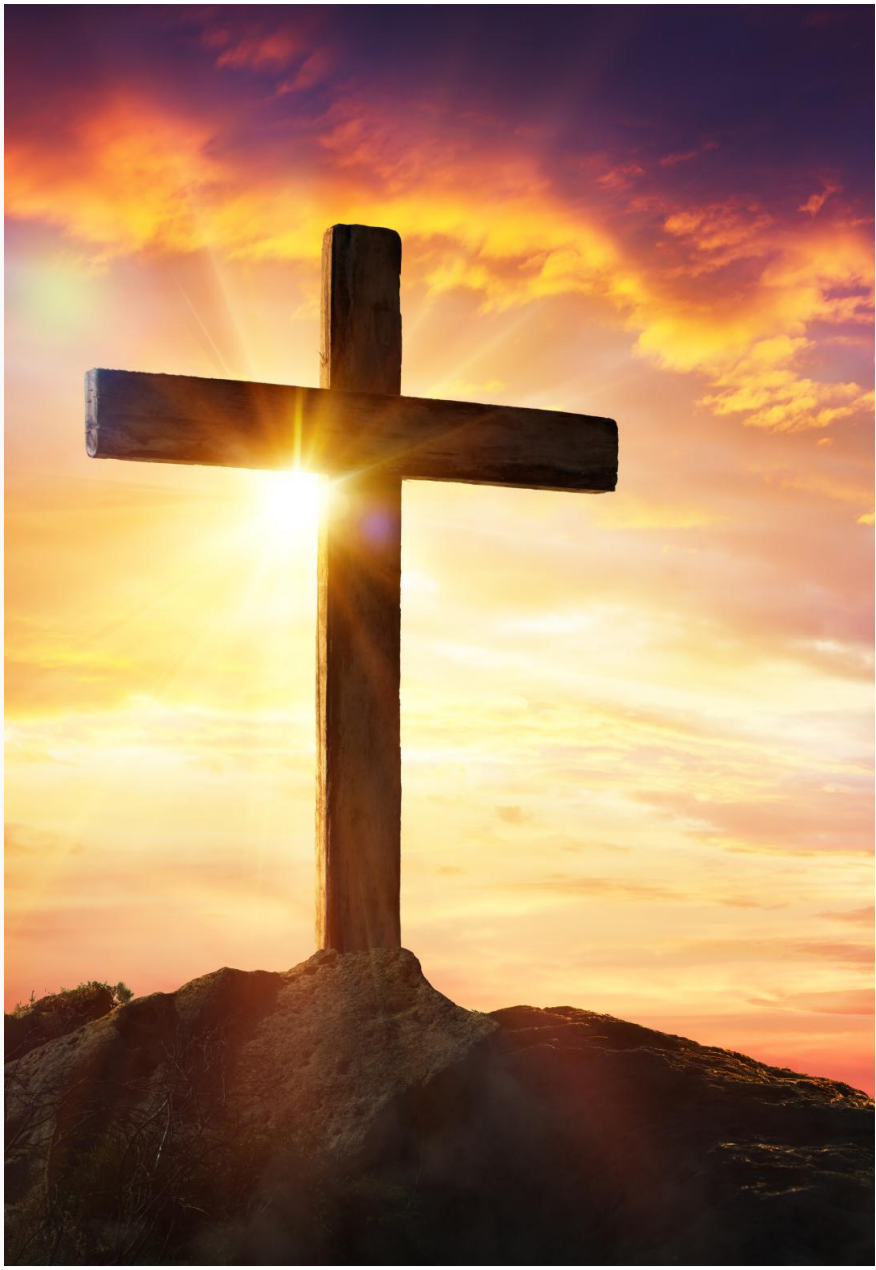
真の大祭司　9:25

それも、年ごとに自分の血でない血を携えて聖所に入る大祭司*とは違い、キリストはご自分を何度も献げるようなことはなさいません。

＊贖罪日・ヨムキプール（レビ記16章）

…年に一度、贖いの血を携えた大祭司だけが至聖所に入ることができた。

メシアによる真の贖いは一度だけ

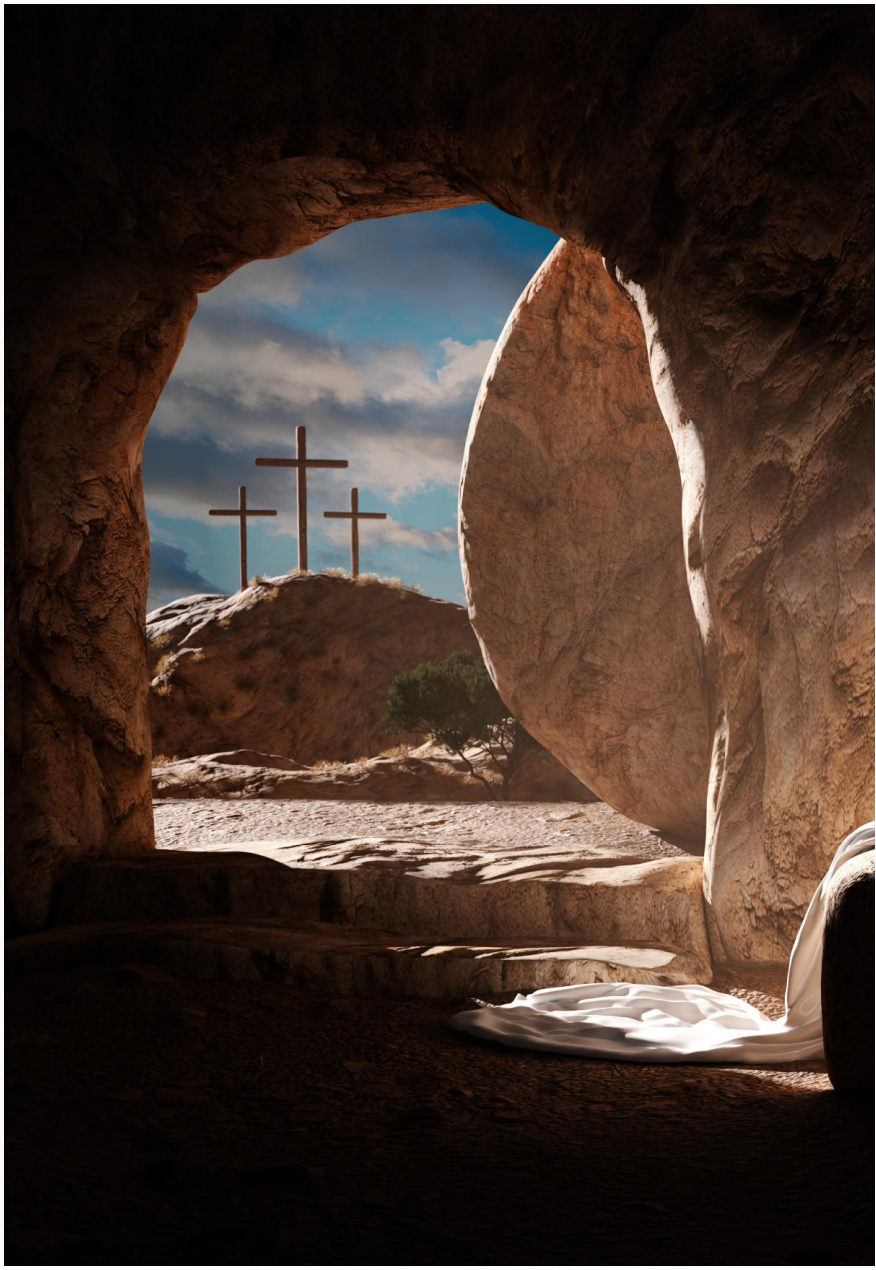


❷完全な贖い

ただ一度　9:26

もし同じだとしたら、世界の基が据えられたときから、何度も苦難を受けなければならなかったでしょう。しかし今、キリストはただ一度だけ、世々の終わりに、ご自分をいけにえとして罪を取り除くために現れてくださいました。

キリストの贖いは
ただ一度で完遂



❷完全な贖い

初臨と再臨　9:27～28

そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、キリストも、多くの人の罪を負うために一度ご自分を献げ*、二度目には、罪を負うためではなく、ご自分を待ち望んでいる人々の救いのために*現れてくださいます。

＊初臨のメシアは、罪の贖いのため、

＊再臨のメシアは、神の国の建設のため



❷一度きりで完全な贖い

①キリストは、十字架で死んで復活し、
　一度きりの贖いを成し遂げられた。

②昇天し、大祭司となったキリストは、
　栄光の王として再臨し、神の国を建設される。



まとめと適用　　贖われた者として生きる

まとめから適用へ

- ただ一度、十字架で死んで復活し、贖いを成し遂げた主イエス・キリストを信じた者は、罪をきよめられた。

- 新しい契約の内に、今を生かされている。

罪を贖われた者として生きるということは？

適用　今の状態を確認しよう

- 私たちが生かされているのは、初臨と再臨の狭間の時代

❶贖いは成し遂げられたが、神の国は完成していない。
➡いまだに地上は悪魔が不法占拠。教会は不完全。

❷罪は赦されたが、栄光の体は与えられていない。
➡いまだに残る罪の性質。信仰者も罪を犯す。

地上の教会は不完全!!　信仰者は罪を犯す!!

適用　クリスチャンに求められる認識　I ヨハネ1:6〜8

❶闇の中を歩んでいないか？

「もし私たちが、神と交わりがあると言いながら、闇の中を歩んでいるなら、私たちは偽りを言っているのであり、真理を行っていません。1:6」

❷光の中を歩んでいるか？

「もし私たちが、神が光の中におられるように、光の中を歩んでいるなら、互いに交わりを持ち、御子イエスの血がすべての罪から私たちをきよめてくださいます。1:7」

❸自分の罪を認めているか？

「もし自分には罪がないと言うなら、私たちは自分自身を欺いており、私たちのうちに真理はありません。1:8」

適用　クリスチャンに求められる認識　Ⅰヨハネ1:6〜8

❶闇の中を歩んでいないか？　…真に神と交わっているか？
偽善に陥っていないか？

❷光の中を歩んでいるか？　…互いに交わりをもっているか？
きよめられつつ歩んでいるか？

❸自分の罪を認めているか？　…罪を指摘された時に、謙遜に
認めているか？

主からの問いかけを受け取り、応えているか？

適用　私たちが求められている主への応答は？！

「もし私たちが**自分の罪を告白するなら、**
神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちを
すべての不義からきよめてくださいます。 Ⅰヨハネ1:9

「あなたがたは、自分自身に気をつけなさい。
兄弟が罪を犯したなら、戒めなさい。
そして**悔い改めるなら、**赦しなさい。ルカ17:3」

罪を認め、悔い改めること

適用　悔い改めなくして、赦しはない

- 認罪なしに、救いはない。

- 悔い改めなくして、赦しはない。

例）放蕩息子のたとえ。息子が父に赦されたのは？

「お父さん。私は天に対して罪を犯し、
あなたの前に罪ある者です。ルカ15:18」

➡罪を認め、悔い改めて、父のもとに帰った

悔い改めのない者に、赦しを告げることはできない!!

まとめ　悔い改めて知る、神の愛

「まだ家までは遠かったのに、父親は彼を見つけて…」
「おまえの弟は死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったのだから、喜び祝うのは当然ではないか。」 ルカ15:20,32

- 私たちは、福音を信じて救われても、なお罪をおかす。
  しかし、悔い改めて、立ち返って、主の愛を知る。
  - ➡悔い改めは信仰の証し。主への信頼あってこそ!!

信仰者に与えられた悔い改めの最たる恵みを行使しよう

★　贖われた者として生きるとは？　★

- 罪を犯したら、まず悔い改めて、主に立ち返ること。

- 悔い改めを拒む人は、主に委ねて待つしかない。
  福音を信じるのも、悔い改めも、その人の決心だから。

- なにより、自分自身を、主に聞き従わせていくこと。
  忍耐して、私を育み続けてくださっている主の愛をこそ、
  味わい知らされて行こう。共に分かち合っていこう。

悔い改め、立ち返りつつ、主に従い歩んで行こう!!

「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、
②墓に葬られ、
③三日目に復活されたこと、を信じます。
私たちの罪は赦されました。それでも罪を犯してしまいます。
私たちは、打ち砕かれて、罪を認め、主に立ち返ります。
主の愛で満たしてください。再び立ち上がらせ、遣わしてください。
感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」

YouTube バイブルスタディ

★次回予告：2026年11月17日(火) 午前10時より

ヘブル人への手紙　9章15～28節

★11時10分くらいから、Zoomで分かち合いの時間を持ちます。